

2017年11月2日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

「ヤングアメリカンズ」へ社内募金 890 万円を贈呈

～被災地域の子どもたちを継続サポート～

ジブラルタ生命保険株式会社(代表取締役社長兼 CEO 山内 一洋、東京都千代田区、以下 ジブラルタ生命)は、社内募金活動「チャリティウィーク2017」を通じて集まった寄付金 8,907,358 円を、特定非営利活動法人 じぶん未来クラブ(代表 佐野 一郎 東京都港区、以下 じぶん未来クラブ)が開催する「ヤングアメリカンズ」に贈呈しました。

■ 社内募金活動「チャリティウィーク2017」について

ジブラルタ生命は、東日本大震災発生翌年の2012年から、毎年3月、全社員を対象に社内募金活動「チャリティウィーク」を実施しており、今年度は東日本大震災被災地に加え、熊本地震の被災地も支援先とした「チャリティウィーク2017」を実施しました。

この活動は、震災で失われた多くの尊い命と、遺されたご家族の想いを忘れることなく、あらためて私達の使命「一人でも多くのお客さまに経済的な保障と心の平和をお届けする」を社員全員で心に刻むために実施し、集まった募金は「未来を担う子どもたち」を応援する活動に寄付しております。

約1ヵ月で全国の社員から合計4,453,679円の寄付が集まり、会社からの同額寄付と合わせ、総額8,907,358円を寄付金として贈呈することとなりました。

■ 「ヤングアメリカンズ東北支援*」について

じぶん未来クラブが主催する「ヤングアメリカンズ東北支援」は、東日本大震災で甚大な被害を受けた地域の子どもたちを支援するために立ち上げられた「ヤングアメリカンズ東北プロジェクト」の一環で行われるツアーで、2011年6月にスタートしました。同プロジェクトは、日本政府や各市区町村教育委員会、そしてアメリカ合衆国大使館等の公共機関・団体をはじめ、様々な企業・団体のサポートのもと実施されており、今回で7年目を迎えます。

ジブラルタ生命は、この「ヤングアメリカンズ東北支援」の活動趣旨に賛同し、2014年から寄付によるサポートを続けてまいりました。

* 2015年までは「東北ツアー」という名称で活動。2016年より「東北支援」に名称変更。

■ 寄付金贈呈式の様子

10月29日(日)、仙台市内の宮城教育大学にて寄付金贈呈式を催行しました。

写真左は、ヤングアメリカンズ ディレクター ジェイコブ・”フィグ“・フィゲロア 氏

写真右は、ジブラルタ生命保険株式会社 執行役員 営業最高責任者 阿部 孝一



■ 参考資料 ■

■ ヤングアメリカンズとは

1962年、若者の素晴らしさを音楽によって社会に伝えようと、ミルトン・C・アンダーソンによって設立された非営利活動団体。音楽を通じた教育と公演を活動の二本柱とし、世界各地から集まった17～25歳の若者たち、約300名で構成されています。彼らはオーディションを勝ち抜き、1年間の厳しい研修期間を経てキャストとして活躍しています。アメリカでは数多くの音楽番組に出演、6人の大統領から招かれるなど、歌やダンス、そして楽器演奏など数々のパフォーマンスをおこなってきました。彼らを描いたドキュメンタリーフィルムはアカデミー賞も獲得しています。このツアーで来日するのは、被災地に対して特別な想いを持つ、音楽と子どもたちを心から愛する若者たちです。

ヤングアメリカンズ(HP): <http://jibunmirai.com/ya/>

ヤングアメリカンズ東北プロジェクト: <http://jibunmirai.com/ya/tohoku/index.html>

■ 「ヤングアメリカンズ東北支援2017」の概要

開催期間: 2017年9月12日(火)～11月19日(日)

開催地域: 福島県・宮城県・岩手県

開催内容:

主に公立の小中学校で1～2日間、ヤングアメリカンズのワークショップを授業の一環として実施しています。ワークショップでは、ヤングアメリカンズのキャストと生徒や先生方が一緒にショーを作り上げ、最終日にそのショーを保護者や地域住民の方々に披露します。

■ 「ヤングアメリカンズ」熊本での活動について

じぶん未来クラブが主催する「ヤングアメリカンズ」は、熊本地震被災地の子どもたちへの支援の一環として熊本地震で被害の大きかった熊本県益城町の小中学校でのワークショップを2017年6月に実施しました。なお、「ヤングアメリカンズ」による熊本地震被災地支援は、ジブラルタ生命からの働きかけにより実現し、その運営には今回の寄付金の一部が充てられています。

■ (参考)「東北支援2017」の様子

～多賀城市立山王小学校(宮城県) 10月3日(火)開催～

